

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東海)		商店街（代表者）	・米国大統領が替わって、景気はますます良くなる。
		その他専門店〔雑貨〕（店長）	・リニア中央新幹線の開業に向けて、今後数年間は良い景気が続く。
		一般小売店〔結納品〕（経営者）	・このままの売上が続けば大変なので、年が明けて春が近づけば多少は良くなる。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	・クラフトビール業界の動きが活発で、提携等を含めて引き合いが多い。
		一般小売店〔書店〕（経営者）	・年明けには米国の大統領が替わることで、消費者のマインドも変化し、景気は少しずつ良くなる。
		百貨店（販売促進担当）	・米国大統領の交代に伴う好景気が当面は続く。
		百貨店（経営企画担当）	・消費マインドはなかなか改善しないが、富裕層の消費が今後も景気の回復をけん引する。
		百貨店（計画担当）	・来客数の増加とともに、高額品にも少しずつ動きが出ている。
		スーパー（経営者）	・高値が続いた青果も価格が安定する。当地への参拝客の増加にも期待をする。
		スーパー（店長）	・来客数、客単価、1品単価の全てが伸びており、もうしばらくはこの状況が続く。
		スーパー（店員）	・寒くなれば鍋物等の食材が豊富な料理が好まれる。買上点数も増え、順調に推移する。
		スーパー（総務担当）	・お歳暮商品の売行きが、前年を上回っている。
		スーパー（支店長）	・大河ドラマの放送が始まり、来客数の増加等、経済効果に期待している。
		スーパー（ブロック長）	・株価の上昇が続けば、消費する余裕が生まれる。
		コンビニ（エリア担当）	・夕方から夜間の売上は改善傾向にあり、一層のキャンペーン実施により販売量の増加が見込まれる。
		家電量販店（店員）	・単価の高い高機能な商品の見積依頼が多くなっている。
		乗用車販売店（営業担当）	・株価が上昇しており、個人投資家の消費が多少は増える。
		乗用車販売店（経営者）	・年度末の商戦がスタートするので販売は回復する。新春の初売りが年度末に向けての指標となる。
		乗用車販売店（従業員）	・1～2月は増販期に入る。新型車種も好調で販売増加が期待できる。
		乗用車販売店（従業員）	・新規客の獲得は難しくても、既存客には買換えの話が多く、わずかだが期待ができる。保有年数の長期化に伴い工場への車検入庫予定数も過去最大で、取りこぼしを減らせれば相当な入庫数となる。客単価は右肩下がり、車の維持費を抑えたい様子が見える。収益的には厳しいが、先行きに明るい材料があるのは支えとなる。
	乗用車販売店（経理担当）	・受注残が多い新型車種が登録されれば、売上は増加する。	
	一般レストラン（従業員）	・野菜の価格も落ち着き、春に向けて客足も良くなる。	
	旅行代理店（経営者）	・悪い材料はなく、景気が少しでも良くなることを期待している。	
	通信会社（企画担当）	・当地では住宅や工場の立地、大規模小売店の出店等でまちが大きく変わりつつある。1月から大河ドラマも始まり、人とまちが動き出す。	
	テーマパーク職員（総務担当）	・自動車産業で労組がベースアップを要求する等、地域と一般世帯にとって明るい話題が出てきている。	
	住宅販売会社（従業員）	・年末の国会でも税制面の政策は出なかったが、今月が少し良かったので、年明けからも良くなると期待している。消費税増税の再延期となった影響も、ようやく終息したように感じる。	
	商店街（代表者）	・法人関係の需要が極端に減少している。個人消費もなかなか伸びず、現状維持がやっとである。	
	商店街（代表者）	・節約志向が強く横ばいが見込まれるが、株価が上昇しており、景気回復への期待感はある。	
	商店街（代表者）	・良くなる要素は何もない。周囲の話聞いても、収入が増え使える金が増えた人は皆無である。	
	一般小売店〔生花〕（経営者）	・先行きが不安なこともあり、まだまだ良くならない。	
	一般小売店〔薬局〕（経営者）	・地域産業が上向かないので景気は横ばいである。余裕のある人は、大都市のターミナル駅周辺まで買物に出かけている。1月はバーゲンセールを企画しており多少は期待が持てるが、2月は閑散期となる。	

一般小売店〔贈答品〕 (経営者)	・先行きも給与の大幅アップは見込めない。自家用消費は伸びても、ギフト商品の売上はなかなか伸びない。3か月先も今の状況がそのまま続く。
一般小売店〔土産〕 (経営者)	・足元の良い状態から変わらない。
一般小売店〔果物〕 (店員)	・3か月ほどでは足元の状況から変わらない。
百貨店(売場主任)	・靴はいずれ値下がりすると思っている客が多く、クリスマス前からクリアランスセールの問い合わせが多い。年明けからのセールが終われば、また厳しい時期に入る。ポイントアップや催事等を実施するが、靴の売上は年々厳しくなってきた。
百貨店(企画担当)	・このところ前年より寒かったため衣料品の動きが活発になり、業況全体をけん引しているが、気温以外に好調さの要因が見当たらないため、楽観視はできない。
百貨店(販売担当)	・衣料品部門の不振は、中間所得者層の購買意欲の落ち込みや消費スタイルの変化によるところが大きく、すぐに回復するとは考えにくい。高額所得者層の消費も、株価や為替の動きに左右されるため、先行きには不透明感がある。
百貨店(販売担当)	・クリスマスギフトは盛り上がったが、その後の定価品の動きは、また鈍くなっている。
百貨店(販売担当)	・新作の投入や販促施策は控えるため、安定的な動きが見込まれる。低単価傾向はしばらく続く。
スーパー(経営者)	・円安の効果が続き、自動車関連や輸出企業は順調な推移が見込まれるが、一般市民には景気が良くなったという実感はなく、景気は変わらない。
スーパー(店長)	・円安が更に進むと、ガソリン価格や様々な物の価格が上昇し、景気の回復が鈍る恐れもある。また、米国大統領の交代に伴って、様々な面で変化が表れる。
スーパー(店員)	・必要最低限の購買量からの伸びがなく、販売状況はなかなか回復しない。
スーパー(販売促進担当)	・景気に対する刺激策がないと今後も回復は難しい。
スーパー(販売担当)	・年末年始を過ぎて購買意欲が元に戻れば来客数の微増傾向が続くとは思えず、横ばいと見込まれる。
コンビニ(企画担当)	・足元の数字は良くないが、東京オリンピックに向けて、いずれは人の行き来が増える。
コンビニ(企画担当)	・売上減少の明確な原因が特定できず、自社としては変動要因が見当たらないため、現状から好転するとは思えない。
コンビニ(エリア担当)	・今以上に良くなる兆しはないが、悪くなる兆しもない。厳しい状況が続くが、セール品等ではある程度販売が見込めるため、それをきっかけに何とか売上を伸ばしたい。
コンビニ(エリア担当)	・当面は、今月と同様の好調な推移が見込まれる。
コンビニ(店長)	・消費が上向いたり、来客数や売上が増えるような要素は特になく、今のままの状況が続く。
コンビニ(商品開発担当)	・米国の次期大統領への期待感で株価も上昇し、プラスのムードではあるが、客には様子見の姿勢がうかがえ、日常的な消費への波及はまだ先である。
衣料品専門店(経営者)	・季節の移り変わりがずれ込んでおり、春物衣料品の動きも遅くなる。
衣料品専門店〔紳士服洋品〕(売場担当)	・新入学や新社会人向けのギフト需要が見込める時期となるが、年末商戦の様子を見る限り、他人へのギフトに金を使うとは思えない。
乗用車販売店(経営者)	・先行きに変動する要素は見受けられない。
乗用車販売店(従業員)	・大きく変化する要因が見当たらないため、あまり変わらない。
乗用車販売店(従業員)	・大きな自然災害等が起こらない限り、可もなく不可もなくといった状況が続く。
乗用車販売店(従業員)	・客との話でも、個人の懐具合はなかなか良ならず、財布のひもは固い。ハイブリッド車を検討する客は多く様々な装備も希望するが、最終的な価格を聞いて考え込むケースが多い。客の予算と希望車種とのかい離が大きいことから、市場の動きは弱い。
乗用車販売店(従業員)	・景気は、良くなるとも悪くなるとも見極めが難しい。
乗用車販売店(総務担当)	・歳末セールには、あまり盛り上がりを感じられない。

住関連専門店（営業担当）	・住宅、民間・公共工事共に、新築案件は減っているが、商業施設、大規模改修やリフォーム等の工事は微増で、全体的には横ばいが見込まれる。
その他専門店〔雑貨〕（店員）	・米国の次期大統領の就任後の変化が表れるまで、様子見の状態である。
その他専門店〔書籍〕（店員）	・書籍離れは年々進んでいる。イベントや特典等で客の呼び込みを図るが、業界全体が厳しい状況にあるので、あまり希望は持てない。
その他専門店〔貴金属〕（営業担当）	・販売量がなかなか増えない。客の財布のひもは固く、様子見が続いている。
高級レストラン（役員）	・1月以降の予約客数は前年並みで、景気回復といえるほどの力強さは感じられない。
一般レストラン〔パン・カフェ〕（経営者）	・これから4月ごろまでは様々なイベントがあり、売上は伸びる時期であるが、客に購入してもらうには、これまで以上の努力が必要である。
一般レストラン（経営者）	・国内よりも海外情勢の安定がかぎとなる。特に米国の動向に我が国は左右される。
観光型ホテル（経営者）	・大口団体客を半年前に受注していることはプラス要因であるが、近隣に都市型ホテルができたマイナス要因で相殺される。
都市型ホテル（従業員）	・予約数からは、先行きも変わらないと見込まれる。
都市型ホテル（支配人）	・人件費や仕入価格の上昇をなかなか価格に転嫁できず、減益が続く見込みである。
都市型ホテル（経理担当）	・宿泊予約の状況は、前年並みである。
旅行代理店（経営者）	・日本全体が節約ムードになっており、サービス業は厳しい状況にある。東京オリンピック会場や築地市場の移転等、問題が解決して国全体がお祭りムードになれば、もっとサービス業も盛り上がる。
旅行代理店（経営者）	・ゴールデンウィークの予約の動きが早くもみられるが、予約する客層は限られている。テロの懸念等も含めて旅行先選びが重要になるが、人気の方面には目新しさがない。
旅行代理店（従業員）	・消費者は余暇・レジャーにもそれなりに支出している。ボーナスが出て先々はベースアップも期待でき、この先数か月は、景気を大きく左右する出来事があれば別だが、足元の良い状況のままで推移する。
タクシー運転手	・夜の繁華街では、人出が少ない状況が長い間続いているので、2～3か月では良くならない。忘新年会シーズンも、前年より多少でも良くなればと期待しているが、あまり変わらない。
タクシー運転手	・年が明けると米国大統領が交代するため、今後の政策が気になる。米国の政策が我が国にとってプラスのものであればよいが、現時点では何ともいえない。株価はこのまま上昇が続いて欲しい。
タクシー運転手	・先行きも良くなる要素が見当たらない。
通信会社（サービス担当）	・光回線の申込が増える反面、アナログ固定電話の解約がこれからも増加していく。
通信会社（営業担当）	・商品に品質を求める動きがないので、このまま変わらない。
観光名所（案内係）	・寒い日が続くそうなので、外出の機会が減る。
ゴルフ場（企画担当）	・2～3か月先の予約は、今のところ前年同日比で少し悪いが、あまり大きくは変わらずに推移する。
その他レジャー施設〔劇場〕（職員）	・天候の影響で客の動きが不安定である。
その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・米国や中国の情勢に左右されるが、現段階では何ともいえない。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・業界は恒常的な人手不足で、利用者へのサービスを充実したくても対応が難しい。景気の底を支えることはできても、生活レベルや消費マインドの向上にはつながらにくい。
その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・しばらくは閑散期となるが、年度末の需要を取りこぼさなければ、年間の業績としては前年比で微増が見込まれる。
設計事務所（経営者）	・小規模な案件が多く、手間ばかり増えて収益が伸びない状況が続く。
住宅販売会社（従業員）	・大きな変化はない。
その他住宅〔室内装飾業〕（経営者）	・安定して住宅、事務所や店舗等の見積依頼が入っている。

	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（経営者）	・売却希望の客は増えているが、希望金額で売れるかどうかは微妙である。
	商店街（代表者）	・商品の性格から、人の動かなくなる寒い時期は売行きも低調となる。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・複数の飲食店から年末で閉店するという連絡を受けている。
	一般小売店〔書店〕（営業担当）	・年度末向けの受注が一段落し、販売量が減少する。
	百貨店（経理担当）	・米国大統領の就任を境に相場は変化し、円高・株安の流れにシフトする。原油価格が更に上昇し、個人消費や企業活動への悪影響が懸念される。
	スーパー（販売担当）	・12月は支出が増えるので、年明けからは引締めにかかり、売上は減少する。
	スーパー（商品開発担当）	・一時期は客足が戻ったように感じたが、12月の繁忙期でも来客数や売上が減少しているため、この先もやや悪くなる見込みである。
	スーパー（企画・経営担当）	・為替の動き次第で、客の財布のひもは固くなる。
	コンビニ（店長）	・キャッシュレス化が進んでおり、対応できない店は、苦戦を強いられる。
	衣料品専門店（販売企画担当）	・衣料品に対しては、値下げ圧力を感じる。
	乗用車販売店（経営者）	・自動車保険、車検や定期点検について、販売サイドでは競争が厳しくなっており、消費者サイドでは商品の比較検討が当たり前になっている。資本力やマンパワーの差が、販売にも影響する。
	乗用車販売店（販売担当）	・ローン利用客への低金利施策があるが、1月からは対象車種がかなり減るため、販売量の減少が見込まれる。
	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・年末年始で足元の購買量は増えているが、2～3か月後はその要因がなくなる。
	一般レストラン（経営者）	・景気が良くなる要素は見当たらないため、外食への支出は減っていく。
	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・景気回復の起爆剤となるものがないと、良くなる感じがしない。
	観光型ホテル（販売担当）	・2～3か月先の予約状況は、宿泊部門と一般宴会部門は前年同期比で5～6%低く、婚礼部門は著しく低いため、先行きはやや悪くなる。
	都市型ホテル（経営者）	・為替や景気の動向は、安定感を欠いている。
	旅行代理店（経営者）	・先行きの不透明感が払拭できない。
	旅行代理店（経営者）	・円安の恩恵を受けられる企業と受けられない企業とで差が出ている。日常生活でも、商品の価格は変わらずに分量が減る実質的な値上げの影響で、先行きへの不安が目に見えて高まっており、財布のひもは固くなっていく。
	通信会社（営業担当）	・販売量は減少傾向にある。
	テーマパーク（職員）	・将来に対して不安感がある。
	パチンコ店（経営者）	・業界全体で低単価の薄利多売が浸透している。
	理美容室（経営者）	・客からは、所得が増えずなかなか来店できないという話を聞く。
	美顔美容室（経営者）	・年末年始の買物や外出で支出が増えるので、先行きは来客数も売上も悪くなる。
	美容室（経営者）	・年末は一気に来客数が増えるが、2～3か月後は平常に戻り、やや減少する。
	美容室（経営者）	・地域の人口は減少しており、景気も良くない。先行きも良い方向に向かうとは思えない。
	住宅販売会社（経営者）	・少子化が35年続いているが、住宅購入者の平均年齢が約35歳であるため、これから悪化の本番である。
	住宅販売会社（従業員）	・注文住宅の発注が減ってきている。
	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・公共、民間共に工事の発注内容が細かく低価格の案件が多いため、売上が伸びない。年明けからも厳しい状況が見込まれる。
x	商店街（代表者）	・家電製品には、年金生活者のなかでも比較的裕福な層の欲しくなる商品がない。
x	スナック（経営者）	・客の財布のひもが固くなる。
x	美容室（経営者）	・12月の来客数が多かったので、しばらくは暇になる。
x	理容室（経営者）	・相変わらず客からは景気の良い話は出ない。
企業動向関連	食料品製造業（経営企画担当）	・1月以降の受注見込みは、若干の上向きである。

(東海)	一般機械器具製造業 (営業担当)	・円安が続き、北米では多くの会社が1月から新年度になり、新たな予算が組まれる。
	一般機械器具製造業 (経理担当)	・受注量が増加傾向である。
	電気機械器具製造業 (営業担当)	・円相場次第であるが、今の傾向が続けば改善が進む。
	金融業(従業員)	・2～3か月後も生産量や業務量の見通しが立ち、比較的よい状況である。ただし、二極化の流れで業種によっては横ばいのところもある。
	金融業(法人営業担当)	・輸出中心の地元製造業では、このところの円安で業績の改善が見込まれる。
	企業広告制作業(経営者)	・近隣諸国の政治情勢や米国の次期大統領等、海外の不安要因は増大しているが、国内生産品の品質は世界が認めるところであり、成熟市場では高品質な品物が選択される。消費は好調な推移が見込まれるが、何でも売れるわけではなく、一部の選ばれた商品だけが売れる。
	会計事務所(職員)	・消費税を外税方式に変えることで収入が増加するケースがあり、消費税免税事業者等には、消費税を価格表示した取引額を推奨している。
	その他サービス業[ソフト開発](社員)	・来年度まで継続する案件があり、新規案件を開拓する余裕がないほどである。
	その他非製造業[ソフト開発](経営者)	・国内生産をしっかりとしないと、好況の波には乗れないため、引き続き開発に注力をする。
	化学工業(人事担当)	・今のところ具体的な要因はないが、不透明感が強く、景気がどちらの方向に向かっていくか見極めにくい。
	化学工業(総務秘書)	・当地域では、円安によって生活の安定感や安心感が生まれ、景気も左右する。円相場が120円程度で推移すれば、良いムードが続く。
	窯業・土石製品製造業(社員)	・円安が続いており、まだしばらくは増産傾向が続く。
	電気機械器具製造業(企画担当)	・米国景気の上昇に期待感はあるものの不安材料もあり、全体としては横ばいが続く。
	電気機械器具製造業(経営者)	・客先業界が悪い状況では、新商品を投入してもあまり期待できない。
	輸送用機械器具製造業(総務経理担当)	・現状のまま推移する。更に良くなるような要因は見受けられない。
	建設業(経営者)	・マスコミ報道によって消費者のマインドが左右される。業況も、今後の景気の動向によって良くも悪くもなる。
	輸送業(従業員)	・石油製品の価格が徐々に上昇し、旅行や外出等を控えるようになる。物流業界は、軽油やガソリンの値上がりでコストの増加に直接つながり、値上がり分を運賃に転嫁できるかどうか経営を左右する。円安によって輸入原材料が値上がりし、メーカーの業績悪化とそれに伴う運賃値下げの要請が懸念され、引き続き業界では厳しい経営が続く。
	輸送業(エリア担当)	・現状と同様で、円安による輸出増加が継続的か一時的かは、見通しがつかない。
	輸送業(エリア担当)	・主要荷主からは、明るくなるような情報は聞かれない。
	輸送業(エリア担当)	・貸切りトラックの休車は、荷動きがない状況と荷物の小口化を表している。1回当たりの発注単位が段々小さくなっており、こういった状況が続く限り景気は上向かない。
輸送業(エリア担当)	・物量は多いが単価は低い。量をさばくのに社員では足りず外部委託を使用している。委託単価も高く人件費も増えており、収支は引き続き悪化が続く。	
通信会社(法人営業担当)	・政治的にも経済的にも景気が良くなる材料が見当たらない。	
通信会社(法人営業担当)	・様々な指標は好景気を示しているが、消費者のマインドは、かなり冷え込んでいる。	
金融業(企画担当)	・個人投資家を除けば、給与が増えなければ支出も増やせない。収入増加を実感できれば消費が増えて景気も良くなるが、実感のない状況では、景気も変わらない。	
不動産業(経営者)	・今後の数か月で、より一層経済が活性化するような要因はない。	
広告代理店(制作担当)	・新規獲得が見込める案件はあまりなく、客も一部を除けば静かに様子を見続けている。	
公認会計士	・取引先の受注等の動きにも特に変化はなく、春まではこのまま何事もなく過ぎていく。	
パルプ・紙・紙加工品製造業(総務担当)	・12月は年末商戦もあって良い状況であるが、2～3か月先は今より悪くなる。	
化学工業(営業)	・ナフサが値上げの見込みで原料費がアップするため。収益面では若干の悪化が見込まれる。	

	鉄鋼業（経営者）	・製鉄業界は材料価格を一方的に値上げする動きがある。勝手に実行されては、中小企業は全く打つ手がない。	
	金属製品製造業（従業員）	・材料価格の高騰は簡単に解消しないといわれており、収益を圧迫することになる。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・素材の値上げが決定しているが価格転嫁もできず、昨今の円安の影響もあり、今後は現地生産にシフトしていく。	
	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・ガソリン価格が上昇傾向で、車で出かける回数が減り、景気にも影響する。	
	輸送業（経営者）	・燃料価格の上昇や運転手不足と共に、大多数のパートが扶養範囲内での就業を選択したことで、人件費の一層の増加が見込まれる。	
	新聞販売店〔広告〕（店主）	・新聞購読、折込広告共に、減少傾向に改善の兆しがみえない。	
	会計事務所（社会保険労務士）	・年末年始に買物をして、年度替わりにも何かと出費が増えるため、しばらくは節約志向となり、その分景気は悪くなる。	
	×	食料品製造業（営業担当）	・直近の受注量をみると、景気が回復する見込みはない。
	×	金属製品製造業（経営者）	・引き合い件数が減少している。
雇用 関連 (東海)	職業安定所（職員）	・求人需要は旺盛であり、多少の変動はあっても上昇基調に変化はない。	
	人材派遣会社（社員）	・3～4月は労働者の流動性が高まる時期になる。	
	人材派遣会社（営業担当）	・年度替わりは求職者の動きが最も多くなる時期であり、人材業界も活況となる。	
	職業安定所（所長）	・円安が続いていることから、輸出環境の改善が期待できる。	
	民間職業紹介機関（営業担当）	・大手企業では採用決定者数がやや横ばいとなる時期であるが、中小企業を中心に増加が見込まれる。	
	人材派遣会社（社員）	・製造業では引き続き企業の採用意欲は高いが、人材不足で紹介・採用に至らないケースが多い。	
	人材派遣会社（営業担当）	・株価の上昇は一時的なので、持続的な景気回復は望めない。	
	人材派遣会社（支店長）	・年間ベースでは右肩上がりが続いているものの、12月単月の求人数は、前年比、3か月前比共に実績を割り込んでいる。1月以降の動きは、現段階では不透明である。	
	アウトソーシング企業（エリア担当）	・国内の自動車販売数・生産台数は、下期に向けて予定どおりの推移が見込まれる。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・米国の政策次第であるが、地方経済にまで波及するには時間がかかり、目にみえる変化は期待できない。	
	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・景気は、少なくとも良くなる兆しはない。個々の企業努力も必要だが、労働者の給与・待遇の改善以外に景気回復の道はない。収入が増えないならば、ばらまき政策も含む税制優遇策の抜本的な改革が必要である。	
	職業安定所（職員）	・有効求人倍率は3か月連続で前年同月を上回っている。特に建設、介護、サービス業や中小企業からは、人手不足の声も聞かれるが、依然としてTPPや米国の次期大統領の政策等、先行きを不安視する声もある。	
	職業安定所（職員）	・プラス要因としては、医療・介護や建設等、慢性的な人手不足業界での求人が依然として多い。マイナス要因としては、米国の次期大統領の政策によって景気が左右される懸念がある。	
	民間職業紹介機関（窓口担当）	・今後も人材不足が続けば、求人数が多くても人材供給が追いつかない状況が見込まれる。	
	学校〔専門学校〕（就職担当）	・大学3年生向けの就職準備イベントやインターンシップ等は、前年と比べるとやや落ち着いた状況となっている。	
	人材派遣会社（社員）	・今月が好調な分やや悪くはなるが、予約状況としては例年並みである。	
	民間職業紹介機関（支社長）	・先行きの不透明感により、様々な面で様子見が強まる。	
×	-	-	